



基山っ子

学校教育目標「学び確かに 心豊かに 体たくましく」

基山小学校だより No.12 令和元年9月27日(金)
基山町宮浦41番地 電話 92-2431 校長 江口陽子



～運動会本番に向けて頑張っています！～

11日(水)から始まった運動会の練習も今日が最後になりました。毎日、各ブロックに分かれて6年生がリーダーシップをとり、団長の掛け声で朝の応援練習を行い、体育の時間には低・中・高に分かれて表現の練習等を行ってきました。25日(水)の1～3時間目には、運動会当日と同じ流れで総練習を行い、開会式から閉会式までプログラム通りに入退場や競技を進めました。また、5・6年生は、受け持った係の仕事の手順や場所を確認しました。

今年のスローガンは、「各ブロック心を一つに協力し、優勝を目指そう」です。どのブロックも趣向を凝らし、勝利への意気込みが伝わってきました。

また、5・6年生の表現は、今年から内容を変更し、スタントと基山創作劇の脚本・演出家の福永真理子先生ご指導による演舞を組み合わせた内容で、基山の自然、歴史、人々のつながりを表現しています。お天気が心配ではありますが、令和初めての運動会をご家族の皆様や地域の方々にも応援いただきますようお願いいたします。



～運動会のお知らせ～

9月28日(土)に予定しています運動会ですが、当日の天候が気になるところです。小雨の場合は、予定どおり実施いたしますが、当日の天候により、プログラムを一部省略する可能性もありますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

なお、延期の場合は、当日、6時00分までに決定し、その後まちコミメールを配信いたします。学校への電話によるお問い合わせは、ご遠慮ください。

保護者のみなさまには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

～10月1日は、自分で作るおにぎり弁当の日です～



10月1日(火)は、「おにぎり弁当の日」です。

1学期のおにぎり弁当の日には、自分で作ってきた子供たちも多く、具材や形を工夫して楽しく取り組んだ様子も伺えました。慌ただしい朝の時間ですが、少し早起きして、親子でおにぎり作りにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。食育の一環として、この取組をととして、子供の自立や家族の絆づくり、心の育成等に繋がっていくことを願っています。時節柄、衛生面でのご配慮もお願いします。

～親子美化作業へのご参加ありがとうございました～

9月14日(土)に行いましたPTA主催による親子美化作業に、早朝よりご参加いただきありがとうございました。運動会を前に、運動場の草取りや石拾い、教室の窓ふき、駐車場周りの清掃等、すっきりと整備され気持ちよく過ごすことができます。

暑い中に親子で一生懸命に取り組んでいただきましたこと、感謝申し上げます。



～御神幸祭が行われました～

9月23日（月）に、荒穂神社の大祭である御神幸祭が行われました。御神幸祭は、神様に五穀豊穡を願う気持ちと感謝の気持ちを表すもので、基山町の伝統行事として、長く受け継がれています。

御仮殿（憩の家前広場）では、鉦風流（かねふりゅう）や獅子舞、羽熊、災払（さいばらい）等の伝統芸能が奉納されました。鉦風流（かねふりゅう）の鉦の音が愛称「ドンキヤンキャン」と呼ばれる由縁だそうです。

本校の児童もそれぞれの地区から参加していました。参加した児童は、毎日、2時間程度練習を頑張り、地区ごとにそれぞれの演目を見事に披露していました。当日は、奉納だけでなく、早朝より夕方まで神事にも参加しています。

地域に伝わる伝統行事の継承者として、しっかりと役割を果たしている子供たちの姿は、大変立派でした。長い間受け継がれた基山町の歴史と文化に誇りをもって、今後も引き継いでほしいと思います。



～基山町商工会青年部によるあいさつ運動～

基山町商工会青年部によるあいさつ運動が9月20日（金）に行われました。この日は、3年生担任も一緒に参加して、青年部の方と正門と西門に分かれて元気の良い声であいさつしました。普段はあまり大きな声であいさつができていない子供たちも、元気よく返すことができていたようです。

この取組が地域の方へのあいさつに繋がっていくことを願います。



～敬老会が行われました～

9月15日（日）は、基山町民会館で敬老会が行われました。式のあいさつでご紹介がありましたが、佐賀県一の最高齢男性である大山さんは基山町の在住だそうです。

敬老会を前に本校では、敬老のお祝いメッセージ書きに全校で取り組み、当日は若基小学校分と一緒に正面入り口付近にクラスごとに掲示されていました。

式の前には、来場されたたくさんの方がメッセージの掲示板に足を止めて目を通していただけていました。

9月前半の地域の行事や運動会の練習を通して、地域とのつながりを改めて感じたところです。今後も、このつながりをしっかりと根付かせていければと思います。

